



## ■片山住宅（コレクティブハウジング木造RH構法2階建）

（1996～97年、兵庫県）



### ◆ 計画内容

■ 震災被害の甚大な長田区内の、密集民家の中に計画された小規模コレクティブハウジング。入居対象は全て高齢単身であり、1階は2戸と共用空間、2階4戸という一つの大きな住宅のような構成を取っている。RH構法の採用も行い、暖かく親密感の高い家族的な雰囲気作りをねらっている。全電化も県として実験的に採用した。片山住宅は2階建てのため1997年3月に竣工し、実際の入居が開始される第1号となる。

（RH構法2階建6戸）。

